



Holger Krauch

ホルガー・クナーク
2020-21年度国際ロータリー会長



No. 29 the Rotary Club of
Takasago, Japan

週報

高砂

クラブ会長方針

“共に BE WITH YOU”

- ①明るく、元気に
- ②メンバーと共に
- ③地域と共に

例会記録 (2021. 6. 18 (金)) 通算3,279回

- ◆開会
- ◆国家「君が代」(曲だけ)
- ◆ロータリーソング「奉仕の理想」(曲だけ)
- ◆「四つのテスト」(曲だけ)



Zoom

◆プログラム予定

6月25日(金)	7月2日(金)	7月9日(金)	7月16日(金)
休会 定款第7条第1節(d) による	クラブフォーラム 会長・幹事 (年間方針発表)	臨時総会 定款細則・決算・ 予算承認	クラブフォーラム 2021~2022 事業計画発表 各委員長

◆出席報告

本日 6月18日 会員数37名 出席者24名 出席率72.373%

◆MAKE-UP

落合 計夫会員 e-CLUB 4月24日(4月23日)

中尾 良治会員 e-CLUB 6月17日(6月18日)

森本 幸吉会員 e-CLUB 6月17日(6月18日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

東播第2グループ 森隆志ガバナー補佐

脇谷 政孝会員……丸山会長、坂牛幹事一年間お世話になりました。コロナ禍での難しい舵取り、お疲れ様でした。

◆高木史郎会員へ御仏前

◆鎌谷雅彦会員退会挨拶 (挨拶動画視聴)



鎌谷 雅彦 会員

◆幹事報告

◎国際ロータリー第2680地区より

- ・ガバナー事務所の6月勤務体制について
- ・会員維持増強についてのご願い
- ・ローターアクト『2021-2022年度 地区交流会』のご案内が届いております。

◎国際ロータリー日本事務局より

- ・『コーディネーターNEWS』2021年6月号 No.1
 - ・『財団室NEWS』2021年6月号
- が届いております。

◎ロータリーの友委員会より

- ・新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件
 - ・ロータリー日本100年史
- が届いております。

◎ひょうご子どもと家庭福祉財団より

令和2年度事業報告書が届いております。

◎クラブ運営現状報告5月が届いております。

◎高砂市保護司会より

第71回社会を明るくする運動推進委員会のお願いが届いております。

◎高砂市吹奏楽団事務局より

高砂市吹奏楽団定期演奏会の延期についてが届いております。

◎兵庫陶芸美術館より

特別展「受贈記念 赤木清士コレクション 古伊万里に魅せられて」の開催についてが届いております。

◎米山記念奨学会より

ハイライトよねやま255 地区内ロータリークラブ一覧表が届いております。
いずれも回覧（または配布）しておりますので、御目通しお願い致します。

〈例会変更のお知らせ〉

○加古川RC：6月8日(火)・6月15日(火) → 例会取りやめ

6月22日(火) → 日時変更 例会変更

最終例会 6月16日(水)

最終例会 6月26日(土) 12:30～ 於：加古川プラザホテル2階

○加古川平成RC：7月28日(水) → 納涼例会のため 午後6:30～

於：加古川プラザホテル2階

○加古川RC：7月 6日(火) → 例会場変更 於：加古川プラザホテル2階 鹿児の間

7月20日(火) → 例会場変更 於：加古川プラザホテル2階 鹿児の間

7月27日(火) → 例会場変更 於：加古川プラザホテル2階 鹿児の間

○高砂青松RC：7月28日(水) → 休会

○姫路南RC：6月21日(月) → 12:00～ 受付開始 順次お食事

12:30～ 会長・幹事挨拶

於：ホテル日航姫路3F 「光琳の間」

6月28日(月) → 12:00～ 受付開始 順次お食事

12:30～13:15 最終ほろにが会

於：ホテル日光姫路3F 「光琳の間」

◆幹事退任の挨拶

歴史ある高砂RCの幹事という大役を引き受けさせて頂いてから、あれよあれよと1年が過ぎてゆきました。

ご承知の通り、今期はコロナのことがあり、そもそも開催数が減少し、親睦の機会の多くが失われ、例会の形式の変更（例えば、席が教室形式、時折、本日のようなズームを使用した形式）が必要となりました。幹事挨拶として、そのことについて少し感想を述べたいと思います。

この1年を経験してみると、あえて言うこともないように思いますが、フェイスtoフェイス、さらには食事や



坂牛 裕 幹事

お酒を通じた交流が凄く意味深いものだと改めて感じました。

確かにズームは便利ですので、今後のロータリー活動においても、新技術は必要に応じて駆使すれば、より物事を負担なくでき、また不可能を可能にすることも多くあるだろうと思います。その点でこれから適度に使用していくとよいと思います。しかし、生の音楽とCDで聴く音楽との差と申しましょうか、そういう違いがあることも大事なことだと思います。ロータリー経験の短い私ですら感じるのに、歴の長い方は言わずもがなかと思います。

私自身のロータリーの魅力は、経験豊かな他業種の“長”の方々と、他では味わえない交流ができることです。皆様それぞれに多くの苦勞をされており、いつも周りの環境に気を配り、未来を見据え、思いをもって考えを巡らしておられるように感じています。そうした方々から、経験談を聞き、その人間性や物の考え方に触れるのは大変楽しいことです。それは概して、普段の何気ない交流の中から得られるものかと思っております。

よく丸山会長から持続可能なロータリーの形について問題提起を頂きました。私は、端的に所属意義と所属負担の関係として捉えておりました。この1年は、それを考えるのに、よい機会となったと思います。

最後に、力不足ながら大役を引き受けさせて頂き、気づかぬ点、至らぬ点が多くあったと思いますが、丸山会長をはじめ、役員・会員の皆様にあたたかく見守って頂きましたこと深く感謝申し上げます。

以上で今期幹事の退任の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

◆会長退任の挨拶

4月23日に残りの例会で、今年度の会長の時間を、振り返りますと言いましたが、今日の1回だけになってしまいました。この1回をCHANCEではなく、OPPORTUNITIESにします。

高砂ロータリーの年史を使って、過去を振り返りました。30周年史の植杉さんの言葉「田舎クラブとしては、地味な中にも知性があるロータリークラブ」この一文に、とても心が動きました。

又、独特な言い回しが多く、わからないことが多いので、ロータリー用語を調べました。これは私の勉強でした。

高砂の偉人は少し取り上げましたが、高砂の街の事は取り上げることができませんでした。残念でした。しかし、人間万事塞翁が馬です。

この一年で表現したかったことは、高砂という「ふるさと」は、知性あふれる、場合によっては理屈っぽい街、そして、交通の要所特有の外へ向かう気概のあった街で、これから、もっとこの特徴を生かしてほしいという思いです。

高砂という地域も、高砂ロータリークラブも、大きな転換点だと思います。



丸山 恵右 会長

高砂市の人口は約9万人、高砂ロータリークラブの会員数は37名です。
この先はどう変化する、変化させるのでしょうか。

先日、「日本のロータリー100周年を祝う会」がオンラインでありました。その資料をお渡しします。それぞれが、来し方行く末を考えるOPPORTUNITIESをコロナは運んできたかもしれません。

新型コロナウイルスの治療方法などが確立し、多くの病気の一つに早くなってほしいと祈念し、又、私を助けていただいた坂牛さん、稗田さん、理事の方々、そしてメンバーのみなさんに感謝申し上げ、会長の時間の結びとさせていただきます。ありがとうございました。

◆本日のプログラム

「会長・幹事退任式」 花束贈呈 次期会長・幹事



花束贈呈



2020-21 年度丸山会長・坂牛幹事
2021-22 年度後藤会長・高木幹事



最後の点鐘 丸山 恵右 会長

会 長：丸山 恵右 幹 事：坂牛 裕
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長：加治屋昭平
例会会場 高砂商工会議所2階会議室
<http://takasagorc.starfree.jp/>